

57-910

ダーニング マッシュルーム

〈付け替え式〉

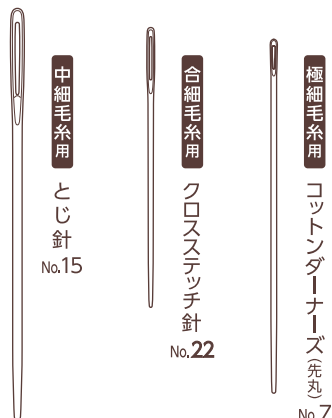
使い方説明書

この説明書は、
57-910
ダーニングマッシュルーム
〈付け替え式〉の
使い方説明書です。

使用上の注意

- ・ネジの破損の原因となりますので、無理に強く締めないでください。
- ・用途以外でのご使用は、おやめください。
- ・お子様の手の届かない所に保管してください。

手芸針の種類 (イラストは目安)



セット内容



●ダーニングマッシュルーム

●手芸針 (3種類各1本)

※使用する毛糸の太さに合わせて、針を選んでください。

- ・とじ針 No.15 **中細毛糸用**
サイズ:(太さ)1.35 mm × (長さ)54.6 mm
- ・クロスステッチ針 No.22 **合細毛糸用**
サイズ:(太さ)0.76 mm × (長さ)37.0 mm
- ・コットンダーナーズ(先丸)No.7 **極細毛糸用**
サイズ:(太さ)0.69 mm × (長さ)46.8 mm

●リングゴム

手で持って

テーブルに置いて



クローバーのダーニングマッシュルームは、土台が付け替え式になっているので、手で持っても、テーブルに置いても、ダーニングが楽しめます。ハンドルは、手袋の指などを修繕するときにも使えます。

3つ
まとめて
保管



上の写真のようにすると、3つのパーツが繋がるので、ひとつにまとめて収納できます。

用意するもの

- 毛糸……………使用する毛糸について
 - ダーニングをしたい衣類など
 - はさみ
 - スチームアイロン
- ・ダーニングをする生地糸の太さに合わせて、毛糸の太さを調整します。
- ・薄手の生地や密度の詰まった生地に太い毛糸を使うと、生地に穴があいてしまうことがあるので注意してください。

ダーニングとは？

ヨーロッパで伝統的に行われている、衣類の穴あきやすり切れた箇所を修繕する針仕事です。そんなダーニングの作業に欠かせない道具がダーニングマッシュルームです。

ダーニングマッシュルームを修繕したい箇所に当てて生地を固定し、毛糸でたて糸を張って、織るようにしてお直していきます。

生地と近い色の毛糸を使うと修繕した跡が目立ちにくくなります。また、あえてカラフルな毛糸を使って目立たせるという手法もあります。

ダーニングの
アイデアや、動画を
チェック！



QRコードが読み込めない場合は、
<http://www.clover.co.jp/seihin/darning.html>
にアクセスしてください。

基本のダーニング

(刺し方 P.2~3)

あいてしまった穴をお直する方法です。



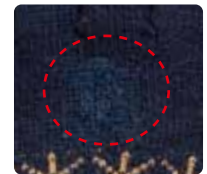
大きな穴のお直しや 目立たせたくないときに

(刺し方 P.4)

穴が大きめのときや、修繕箇所を生地に
なじませたいときに適した方法です。



周りのステッチが
補強になります！



同色の毛糸なら、
生地となじんで
目立ちにくい！

シミ隠しや補強に

(刺し方 P.4)

ステッチを入れること
で、シミを隠したり、すり切れて薄く
なった箇所の補強を
します。



基本のダーニング



1
生地の表側を手前に向け、修繕
箇所にダーニングマッシュルーム
を裏から当てます。修繕箇所が
マッシュルームの中央に来るよう
に合わせたら、生地がピンと張る
ように広げて、リングゴムで固定
します。



2
たて糸に使う毛糸を50cmほどにカットし、針に通し
ます。針に通すときは、毛糸を針の頭に当てて二つに
折り、折りぐせのついた所から針穴に通して引き出し
ます。

次に、
たて糸を張ります。

たて糸は、修繕箇所の穴よりも
外側に張ります。たて糸の張り
方次第で形を自由に変形でき
ます。ここでは、四角で説明します。



四角

丸



3
穴の少し外側の、右上から刺していきます。右から左に生地を小さくすくひ、毛糸を下に引きます。糸端は10cmほど残します。



4
次に、3で刺した所の真下を、右から左に小さくすくひます。できあがりの四角をイメージしながら刺しましょう。



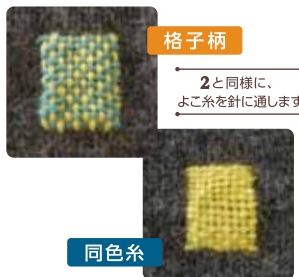
5
今度は、3で刺した所の少し左側を、右から左に小さくすくひ刺します。刺していく間隔は、毛糸1本分が目安です。



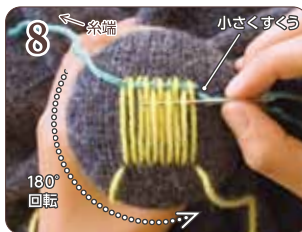
6
この作業を繰り返して、たて糸を張り、穴をおおいます。

次に、
よこ糸を通します。

たて糸と違う色の毛糸を使うと、格子柄になります。
ここでは、格子柄で説明します。



7
たて糸の1本目の上、2本目の下、3本目の上...と、交互に端まで通して、毛糸を引きます。糸端は10cmほど残します。



8
次の段は、7と同じ方向からよこ糸を通せるようにマッシュルームを180°回転させます。たて糸のすぐ横を上から下に小さくすくひしてから、織物のように前の段と通す上下を逆にして通し、毛糸を引きます。



9
針でよこ糸を下に詰めたり、目を整えたりしながら、最後までよこ糸を通します。

memo
途中で糸がなくなりそうなときは、きりのよい端の所で終わり、次の段から新しい糸に替えましょう。新しい糸に替えたときも、生地をひとすくひして始めましょう。



10
最後までよこ糸が通せたら、糸端を10cmほど残して切ります。リングゴムをとり、マッシュルームから生地をはずします。



11
糸始末をします。糸端を裏に出して、ステッチを2目ほどひろい、毛糸をくぐらせます。



12
11でひろったステッチの糸を割るようにして2目ほど戻したら、きわで糸を切ります。



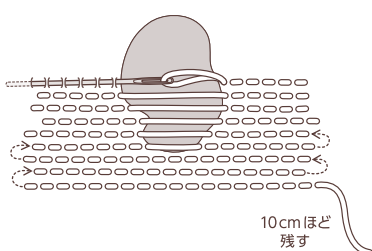
13
生地を表から、少しアイロンをうかせて軽くスチームをあて、整えます。

その他のダーニングの刺し方 (P.4)

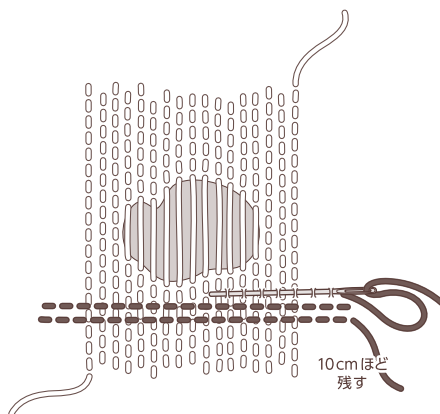
その他のダーニングの刺し方

刺し始める前に、「基本のダーニング」の1~2 (P.2) にならって、マッシュルームに生地をセットし、毛糸の準備をしてください。
刺し始めと刺し終わりは、糸端をそれぞれ10cmほど残し、「基本のダーニング」の10~13 (P.3) にならって、糸始末をしてください。

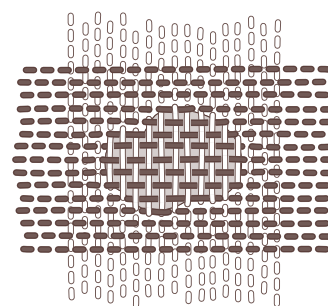
大きな穴のお直しや 目立たせたくないときに



穴よりひとまわり大きく並ぬいします。穴の所まできたら、図のように糸を渡します。毛糸を強く引きすぎないように注意しましょう。

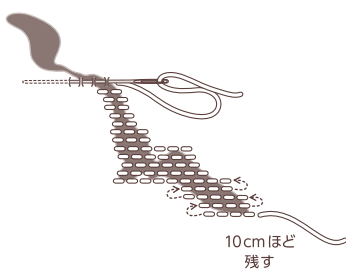


生地が90°回転するようにマッシュルームを持ち替え、再び並ぬいします。
(※分かりやすくするため、新しい糸は色を変えて表しています)



穴の部分は、織物のように、先に渡した毛糸の上側、下側、上側…と交互に通し、次の段では前の段と通す上下を逆にします。

シミ隠しや補強に



シミや補強したい箇所がしっかりおかわれるように、形にそって並ぬいをしていきます。
シミをきれいにカバーしたい場合は、細かく並ぬいをしてください。

ダーニングのアイデアや、動画をチェックできます！



QRコードが読み込めない場合は、
<http://www.clover.co.jp/seihin/darning.html>
にアクセスしてください。

▼商品に不都合な点がございましたら、お買上げ店名をご記入の上、クローバー(株)「お客様係」まで現品をお送りください。

クローバー株式会社

〒537-0025 大阪市東成区中道3-15-5
「お客様係」 TEL. (06) 6978-2277

© 2018 CLOVER

④ 本商品や使い方説明書を無断で複製し配布することを禁じます。